



第 12 回 ITS シンポジウム 2014

CALL FOR PAPERS

2014 年 12 月 4 日(木)～5 日(金)

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan

共催： 東北大学大学院情報科学研究科

次世代自動車宮城県エリア

次世代モビリティ開発拠点岩手県エリア

協賛： (社)計測自動制御学会、(社)交通工学研究会、(社)自動車技術会、(社)情報処理学会

(社)人工知能学会、(社)電気学会、(社)電子情報通信学会、(社)土木学会、(社)日本機械学会

日本交通心理学会、(社)日本ロボット学会、自動車技術会 ITS 部門委員会、情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会、情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会、情報処

理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会、電気学会 ITS 技術委員会、電子情報通信学会 ITS 研

究会、電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究専門委員会

テーマ： Event ITS –非日常の交通を支える ITS

大地震や異常気象等の突発的な事象により発生する交通遮断や避難行動、また祭り等の大規模な催事による交通規制や交通集中は、過度の渋滞や混雑による交通の支障をもたらします。本年は"Event ITS"をメインテーマとして、東日本大震災を経験し、また今後も発生が予想される大地震や気象災害、そして 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、非日常を引き起こす"Event"下における ITS の果たす役割について、企画セッションを通じて展望します。

一般投稿論文の対話型セッションと合わせて、Event ITS に関する技術の発展を期して活発な議論を望んでいます。また今回は東北地域固有の課題に注目した公開セッションも検討しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

1. 投稿方法

投稿方法には「査読あり」「査読なし」があり、投稿時にいずれかを選んでいただきます。2 つの Proceedings を発行し、採用された論文は査読の有無によっていずれかに収録されます。

●査読あり

(1) フルペーパー提出期限：7 月 1 日(火)

(2) 提出物：(1)フルペーパーおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語。A4 サイズで 6 ページ以内。指定の様式に従って、MS-Word ファイルまたは PDF ファイルで作成し、(1)と(2)を下記送付先へ電子メールでお送りください。

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡：9 月上旬

3 名の査読者による「新規性・独自性」、「社会的/技術的有用性」、「説明の明確さ、論理性」、「内容充実度」の各項目の評価にもとづいて、プログラム委員会の判断により採否を決定いたします。

(4) 最終カメラレディ原稿の提出期限：11 月 4 日(火)

(5) 優秀論文賞と論文誌への推薦：

特に優れた論文には優秀論文賞が授与され、英文論文誌 International Journal of Intelligent Transportation Systems Research に推薦されます。



●査読なし

(1) ショートアブストラクト提出期限: 8月18日(月)

(2) 提出物: (1)ショートアブストラクトおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語。250字程度のアブストラクトを論文投稿票の当該欄に記入し、(2)のみを期限までに下記送付先へ電子メールでお送りください。

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡: 9月上旬

(4) 最終カメラレディ原稿(フルペーパー)の提出期限: 11月4日(火)

A4サイズ6ページ以内のフルペーパーを指定の様式に従ってご提出いただきます。

なお、投稿票ならびに論文フォーマットは、ITS Japan ウェブサイト

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium12/ に掲載します。

2. 参加登録料

・論文発表者参加登録料(投稿料を含む): 一般15,000円/学生8,000円

・聴講のみの参加登録料: 一般会員15,000円/一般非会員20,000円/学生3,000円.....11月26日(水)まで
一般会員18,000円/一般非会員23,000円/学生3,000円.....11月27日(木)より

3. 発表方法

一般投稿論文は査読の有無に関らず全て「対話型セッション」にて発表していただきます。本セッションは、ポスターを作成していただき、ポスターの前で参加者と直接対話しながら議論を深めていただくものです。後半の時間帯には、モデレータの司会による公開討議の時間を設け、さらに議論を深める工夫をする予定です。また数件のベストポスター賞を選考委員会によって選定・授与いたします。

4. 募集する論文の分野

ITSに関する基礎技術から応用技術まで、幅広い分野の論文を募集します。以下に代表的な分野を示します。

- | | |
|--|--|
| ◇ センサ技術
画像、レーザー、誘導コイル、超音波センサ、
およびこれらに基づく認識技術 | ◇ 交通制御
事象検出、交通計測、信号制御、事故マネジメント |
| ◇ 通信技術およびアプリケーション
光ビーコン、電波 DSRC、ETC、ナビゲーション | ◇ 交通計画
道路設計、信号設計、交通シミュレーション |
| ◇ 車両制御と自動運転
AHS、ACC、レーンキープ、自動運転、自動運行バス | ◇ 環境改善
車両技術、交通管理技術、情報サービス、社会実験 |
| ◇ 安全性向上とヒューマンインタフェース
ASV、運転支援、シミュレータ、ドライバーセンシング | ◇ 都市工学
都市空間モデリング、都市計画 |
| ◇ 交通心理学
ドライバ心理、歩行者心理、消費者心理 | ◇ 交通政策、交通経済
法令整備、TDM、ロードプライシング、プライバシー保護 |
| ◇ ITSシステムアーキテクチャ、ITSプラットフォーム | ◇ 情報コンテンツ、その他アプリケーション |

■ 第12回 ITS シンポジウム 2014

実行委員長: 桑原雅夫(東北大学)

プログラム委員長: 蒔苗耕司(宮城大学)

プログラム委員: 御室哲志(秋田県立大学)、浜岡秀勝(秋田大学)、水田謙(アルプス電気)、澤瀬薫(一関工業高等専門学校)、澤本潤(岩手県立大学)、羽多野裕之(宇都宮大学)、藤田勝(ウヌマ地域総研)、菅沼直樹(金沢大学)、小野晋太郎(東京大学)、中野公彦(東京大学)、山邊茂之(東北大学)、箱石一記(トヨタ自動車東日本)、山腰明(トヨタ自動車東日本)、藤野智幸(ネクスコ・メンテナンス東北)、橋祐一(日立ソリューションズ東日本)、物部寛太郎(宮城大学)

■ 論文送付・問合せ先

ITS Japan 井出 晴子 (〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル)

TEL 03-5777-1013 / FAX 03-3434-1755 / E-mail h-hide@its-jp.org

